様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日　　2025 年　1 月　17 日

１．職名・氏名　教授・堀田　学

２．学位　　学位　博士（農学）、専門分野　農業経済学、授与機関　京都大学、授与年　1998

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 農業経済学（経済学部）・農業経営論（生物資源学部），２・３年
②　内容・ねらい 農業経済学の基礎を学習することを目的とした．その基礎となるミクロ経済学・経営学を解説した上で，農業・農業経営の特質を理解する．また学術的・理論的理解にとどまらず，現実の実情を理解することを狙いとした．
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (a)２学部の学生を対象としているため，毎週，講師は永平寺キャンパス交互で講義・配信し，対面と遠隔講義のハイブリット方式で授業した． (b)通常の講義に加えて，外部講師を招いて現場の実情の理解を深める工夫をした． （外部講師；福井県農業試験場１名，嶺南振興局農業経営支援部１名，東京都中央卸売市場大田市場東京青果２名）　【ゲストスピーカー ３人】
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 農業生産・流通政策論（経済学部）・農業市場論（生物資源），２・３年
②　内容・ねらい 農産物流通の理論的学習に加え，実態を理解することを目的とした．理論的にはマーケティング論，流通論の基礎を身につけ，実態理解には現場の実情をすることを目的とした
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (a)２学部の学生を対象としているため，毎週，講師は永平寺キャンパス交互で講義・配信し，対面と遠隔講義のハイブリット方式で授業した． (b)通常の講義に加えて，外部講師を招いて現場の実情の理解を深める工夫をした． （外部講師；城南地方卸売市場１名，東京都中央卸売市場大田市場東京青果１名） 【ゲストスピーカー ２人】
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 オムニバス「経済学」1/15 コマ　１年
②　内容・ねらい 農業分野の経済学の位置づけを理解することを目的として，農業生産・流通の特質について説明した．
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 関心を持ってもらえるように平易な用語でレジメを作成し説明した
(2)その他の教育活動
内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【　本】
②学術論文（査読あり） 【　本】
③その他論文（査読なし） 【　本】
④学会発表等 【　件】
⑤その他の公表実績 福井県の農業振興に関する報告書～大型稲作経営体育成の方策～ 【1 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
(3)特許等取得
(4)学会活動等
地域農林経済学会　常任理事 日本農業経済学会　常務理事 農業経営学会　地域理事 農業開発研修センター参与 農業開発研修センター令和６年度農産物流通研究会で座長を担った.

５．地域・社会貢献活動

・農山漁村発イノベーション中央プランナーとして JA 里浦（徳島県）の基本方針づくりを支援した.
・農業普及センター（本部および奥越地区の２箇所）の普及活動外部評価を行った.
・福井県主催のリーディングファーム育成プログラムで講演「販売分析と販売戦略について　～マーケティング・販路拡大～」を行った.
・福井市中央卸売市場 50 周年記念シンポジウムで講演「卸売市場の未来図」を行った.
・高校の探求科（鯖江高校，金津高校２校）の指導・評価を行った.

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など